

教科「外国語」の学び方

教育目標

- 1 英語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。
- 2 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- 3 英語を通じて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

具体的な目標

- 1 英文法の基礎・基本の徹底を図る。
- 2 ALTとのTTや交換留学生を通じて、生の英語に触れ、国際理解に努める。
- 3 生徒に英語を話させる機会を多く与える。
- 4 進学を希望する3年生の英語力の向上につなげるため、1クラス2コース制の授業を行う。

学び方

英語は世界へ開かれる扉

「ことば」は意思疎通のための道具です。私達は「ことば」によって相手の意向を知り、自分の考えや気持ちを相手に伝えます。また、国際的に相互に意志伝達をするのにも「ことば」が必要になります。そのために国際的に通用する「ことば」を学ばなければなりません。

国際的に最も広く使われている「ことば」は「英語」です。国際交流の道具としての英語の役割は大変大きく、実際に通用する英語を身につける必要があります。

また、「ことば」は文化そのものであるとも言われます。「ことば」と同時に、その背後にある「ことば」の基盤すなわち広い意味での文化を知ることによって、より適切にその「ことば」を使うことが出来るのです。

1 授業

各課の新しく出てきた単語や熟語はしっかりと辞書で調べましょう。また、予習を通して本文の内容を理解するように勤めましょう。必ず新しい発見があります。

板書はその日の授業で大切なことをまとめてあるものです。しっかりノートに書き写しましょう。

2 英語検定を積極的に受験しましょう。

自分が学習したことが、どれだけ定着しているのかを客観的に判断してくれるものに「検定」があります。試験を受け資格を得るということは、自分が頑張ってきたことを証明してくれます。

また、進学希望者にとって英検の勉強は自分の英語の力を伸ばす良い教材になります。

3 進路に向けた学習

大学進学者は英検や一般の問題集を使って、特に文法事項を積極的に学習することが必要です。

わからない点は積極的に担当の先生に質問して下さい。

就職者は、まず授業をしっかりと理解し、基本を身につけることが大切です。